

町田通勤寮だより

NO 46 2014年7月

東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

ごあいさつ

7月1日付の法人内異動によりまして、寮長に就任いたしました三階広明（さんがいひろあき）と申します。よろしくお願いいたします。気がつけば、事務職員として町田通勤寮開設から19年間勤務してきたこととなります。

障害者福祉の制度が大きく変わってくる中、20年目の今年は2年後の民間移譲に向けた対応が、一番の課題と考え準備をしてきたところでした。立場は変わりましたが、法人として引続き町田通勤寮を運営していけるよう努力してまいります。

4月に就任したばかりの寮長が、法人の事情により交代することに、ご不安もあるかとは思いますが、職員一同、努力してまいりますのでご理解の程よろしくお願いいたします。

さて、過去に何回かこの紙面の中でもお話しさせていただいており

ますが、簡単に自己紹介をさせていただきます。

出身は福島県です。3・11で故郷の原風景が大きく変貌してしまったショックは、一生忘れてはいけないことだと思っています。

大学卒業後は15年間児童福祉施設等で勤務し（現場が5年、事務が10年）縁あって、通勤寮開設の際につるかわ学園に入職し現在に至っています。

サッカー好きのおじさんで、年甲斐もなくボールを追いかけて、4月末にアキレス腱断裂をやってしまい、現在リハビリ中です。

ワールドカップ開催中のこの期間は、日によっては五時起きでテレビ観戦をしています。オランダの優勝を期待していたのですが、先日敗れてしまい残念です。

最後に、これまで事務職という一歩離れた立場から感じていた様々なことを、一人ひとりの利用者さん、利用者さんを支えてくださっている皆さん、そして職員との信頼関係の積み重ねの中で、通勤寮が期待されている役割と機能が十分に発揮できるよう努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。



調理実習

①5月25日(日) 今年度初めての調理実習を行いました。4名の男性利用者さんが参加しました。今年度初めての参加者もいまして、昨年同様手洗いの指導からスタート。

メニューはご飯・おみそ汁・肉じゃが・海藻サラダ・フルーツポンチです。野菜が上手に切れるようになり、美味しく出来ました。また、フルーツポンチにサイダーを使ってみました。簡単においしく出来るので利用者さんからも好評でした。今年の目標はご飯とおみそ汁と何か一品作れるように頑張りました！

②6月15日(日)に二度目の調理実習を行いました。男性は4名・女性は1名の利用者が参加しました。

メニューはつけ麺・ご飯・野菜炒め・卵焼き二種類・プリンとなりました。今回は利用者さんからのリクエストがあつたメニューとなり、寮では麺類を夕飯に出すことが出来ないものでつけ麺を作りました。なんとタレもアレンジ！。野菜炒めはシンプルに塩・こしょうのみですが、炒め加減も良く、上手に仕上げました。卵焼きは甘い出し巻き卵と塩・醤油の入った家庭の卵焼きはどちらが好みでしょうか？一番大変だったのが、プリンでした。一生懸命カaramelソースとプリン生地を作り、出来上がりはとて甘い・甘いプリンに仕上がりました！

次回、8月に予定しておりますので、参加お待ちしております！

(大場)



男性の活躍が目立ちます！



参加者も少しずつ増えています



フルーツポンチ



見事完成！

クラブ活動

6月22日(日)に今年度3回目のクラブ活動を行いました。今回は男女合わせて4名の参加となりました。

お花はアワ・ベニバナ・グラジオラスの3種を使用し、それぞれが悪戦苦闘しながら生けていき、講師の川添先生より「何度もやってい



表情は真剣そのもの！



お花は玄関に飾りました！

るのがわかる・お花の生かし方が上手」などお褒めの言葉を頂き喜ぶ姿も見られました。

お茶は“点てる”側を全員が体験し、初めての方は丁寧な指導を受けながら頑張りました。

やはり皆お茶菓子と先生からのお褒めの言葉が嬉しいのか、連続で参加する方が増えたような気がします。

女性参加者からは「もっと女子がいたらいいのに」との声があり、どんなことをやっているのか見学を勧め、どちらかだけでもいいので職員からも参加の呼びかけをしようと考えています。

次回活動予定…9月中旬



道具も全て先生の物です



利用者さんも緊張しています

フクシア使い

地域生活援助センターフクシアは平成26年度より大幅な事業改革を行い、早3か月が経過しました。この3か月間細かなところでは色々ありました。特に大きな問題には発展せずに運営することが出来ました。利用者の方々はもとより、周囲の職員の努力があったからこそと感謝しております。健全な運営をしていく上でこれからの今回のような「改革」が必要になってくることは必然的と言えるのではと考えております。

東京都は新しく「サテライト型住居」を打ち出し説明会などを行い、実現に向けて動き始めました。当然「フクシア」にとっても今後考えていかななくてはならない課題です。

「サテライト型住居」とは本体住居との密接な連携を前提とした、一

人暮らしに近い形態の住居。と位置付けられています。今後の地域生活が大きく変わることが予想されています。これからの動向を見守りながら「フクシア」でも実現する日がそう遠くないのではと思われま

第二子誕生

寮のネタでなく、私事で通勤寮便りのスペースをお借りするのは恐縮なのですが…。4月29日の昭和の日に第二子の男の子が生まれました。本当は女の子が欲しいなと思っていましたが、生まれてみれば可愛いものです。長男同様、溺愛する親馬鹿となっています。しかし、世のお父さんお母さんが言うように、写真が減ってしまうのは我が家も同じで、長男に比べてかなり写真枚数が激減しております。大きくなったら怒られない様に、思い出し撮っておきたいですね。

今後、寮内で性講座も考えており、赤ちゃんの次男が登場する話もチラホラ出ています。世の中ではスマホが普及し、老若男女問わず(?)異性間の安易なネット上での遣り取りと、安易な気持ちによる出会い等が横行しているとも耳にしています。小さな生命も大きくなったら意思を持ち、将来を慮る年頃になります。子どもが愛情を受けて育てられたと人に誇れるような家庭、世の中にしていきたいものですね。

季節の話題

・ソフトボールは6月の都大会も練習も雨天中止。梅雨入りが早かっ

たのが残念です。特に練習は次回が10月とかなり空いてしまうのは痛すぎます。ちなみに3大会出場となつて9年目ですが、全て開催できたのはたった2回。逆にすべて中止は一度もありません。そういう意味で言うなら「普通の年」なのかも知れません。

・サッカーW杯、時間帯の関係か寮内はあまり盛り上がりませんでした。それでもテレビで放送されていけばついつい釘づけに。

特に最終コロンビア戦は朝食時間帯と重なったこともあり、結構観ている人が多かったのですが：1点、また1点と奪われる度にため息が増え、終了間際にも失点すると「ダメだこりゃ」「世界の壁は厚いなあ」「4年後か」と一様に落胆。出勤した利用者の話では劣勢ゆえか携帯で観戦する人も殆ど見かけなかったそうです。

・業務編成上、職員が一人で勤務する事がエアポケットのたまにあるのですが、ある利用者がそれを見て「あれ？今日は一人？どうしたの？ひよっとして人件費カット？」いや、そういう訳では：聞けば利用者の就労先も業種によつては結構厳しいそうです。

・夕食のデザートにメロン！職員が喜んで「えー？そんなに嬉しい？」「別に普通じゃん」と若い利用者は冷ややか。では彼らにとつて高級フルーツとは何かと問うと一様に「マンゴー」。まあ、あれもピンキリですが、九州某県の元知事の功績でしょうか。

一方で昭和生まれの利用者には「わかるわかる」と共感も「バナナもありがたかったよね？」いえ、そこまで古くはありません。

・テレビで話題になった「号泣県議」。利用者もその映像にはドン引きで「あれはないだろ」「注意受けて泣いてすむなら俺たちも苦勞

しないよ」仰る通りです。

(山内)

新任職員挨拶

7月から東京都町田通勤寮の生活支援員になった植竹です。誕生日は9月3日で、男なのにおとめ座です(笑)趣味は音楽鑑賞、読書。観るスポーツは相撲が好きで、稀勢の里のファン。また、家の近くにジムがあるので、水泳を再開しようと思っっている所です。

このたび入職にあたり名古屋から転居してきました。実家はナゴヤドームのすぐそばです。千葉で生まれ、名古屋、東京と転居し、今は相模大野に住んでいます。町田や相模原はとても便利で生活しやすい環境なので気に入っています。湘南も近いということで、海に行くのが待ち遠しいです。通勤寮は若い利用者さんが多いので、盛り上がるであろうイベントや旅行を今から楽しみにしています。見かけたら気軽に声を掛けて下さい。どうぞよろしくお願いします！

今後の予定

- ・8月16日(土) バーベキュー大会
- ・9月14日(日) 保護者会
- ・9月27日(土)・28日(日)・29日(月) 宿泊研修(北海道)

編集後記

先日、電車の中で何気なく座席に座った人々を見てみると端から端まで皆スマートフォンを操作していました。特に驚く様なことではな

いですが、どこにでもあるようなヒトコマでしょう。僕は今26歳ですが、4年前に購入したパッカと開く、所謂ガラケーを未だに使用しています。友人からは「まだガラケーなの?」「スマートフォンにしないの?」などと言われることが多々あります。私自身としては特に不便はしていませんし、「ガラケーブーム」に便乗している訳ではありません。かといって、今使用している携帯電話に愛着がある訳でもありませんし、もし壊れたら、スマートフォンに切り替えることも考えられません。携帯電話を全く使用しないわけでもなく、もちろんメールや電話を利用して連絡はとりますし、ウェブを使ったとしても電車の時刻や天気などを調べる程度で最低限の機能しか利用していません。携帯電話に拘りはなく、「使えば良い」といったスタンスです。

今はツイッターやフェイスブック、ラインからインスタグラムなどのアプリケーションソフトウェアも増えていきますし、利便性も高く、手軽にメッセージを発信できます。電波さえあればいつ、どこにいても誰かと連絡が取れますが、逆に「いつでも誰かと繋がってなければならぬ」といった強迫に似た感覚さえも同時に生み出しているのではないのでしょうか。「便利で手軽」であるが故にこういったアプリケーションからは弊害も生まれてくるのも確かでしょう。事実、ラインからイジメや犯罪に連鎖した事件が後を絶ちません。

自分の安全を守るのにはやはり自分自身なのです。時間とお金を無駄にしないためにこういったメディアを賢く使っていきたいですね。

(岩崎)